

Blitzen Times

Vol. 106
August.2026



Race Report

2026.7.19 全日本選手権 MTB XCC
2026.7.20 全日本選手権 MTB XCO





全日本MTB、王者の2日間

7月19・20日、長野県安曇野市で開催された全日本MTB選手権に沢田時が出場した。初日のXCCでは、最後のコーナーからのスプリントを制して3連覇を達成。翌日のXCOでは厳しい暑さの中で表彰台を争い、終盤のアクシデントを乗り越えて5位で走り切った。



XCC、最後の一踏みで3連覇

全日本選手権を前に、沢田時が目標に掲げたのはXCC、XCO両種目での3連覇。初日のXCCは1周0.7キロを14周する計9.8キロ、約20分間のハイスピードな勝負となった。狭く抜きどころの少ないコースで、スタートから好位置を取ることが勝負の鍵だった。

沢田は序盤から先頭争いに加わり、後半には有力選手7人による先頭バックが形成された。周回を重ねるごとに集団は絞られ、13周目には沢田、高橋翔選手（drawer THE RACING）、日本体育大学、北林力選手（UNNO FACTORY RACING）の3人が先行する。

最終周回、一度は前に出た3人は再び一団となり、勝負はスプリントへ。沢田は最後のコーナーで内側を選び、一気に加速。21分38秒16でフィニッシュラインを先頭で通過し、XCC全日本選手権3連覇を成し遂げた。

XCO、粘りの走り

翌日のXCOは、長い登坂を含む計21.9キロ。気温の高さも加わる過酷な条件の中、62人がスタートした。沢田は先行勢の速いペースに苦しみながらも、粘り強くレースを進める。

4周目には平林安里選手（TEAM SCOTT TERRA SYSTEM）をとらえ、単独3番手へ浮上。表彰台を見据えてファイナルラップへ入ったが、終盤に落車してタイムを失う。それでも立て直して走り切り、5位でフィニッシュした。

沢田はレース後、「また万全の態勢で次に戻せるように頑張りたい」と語った。XCCでつかんだ3連覇としてXCOで示した粘り。結果のすべてを力に変え、沢田は次なる舞台へ歩みを進める。アジア競技大会2026マウンテンバイク競技の日本代表としても、その走りに注目が集まる。



HOME RACE INFORMATION

第1回 大田原ロードレース

2026年 **9月5日(土)**

栃木県大田原市湯津上 公道特設コース

※大田原市湯津上温泉やすらぎの湯近くがスタートゴール

<https://jbcfroad.jp/race/19345>



私たちはAstemo宇都宮ブリッツェンを応援しています。

Astemo



Thank you for your support.

Blitzen 3